

29天皇在位60年式典粉碎

全ての京大生諸君！ とりわけ新入生諸君！

我々は、今着、国家をあげて演出されんとしている『天皇在位60年式典』・東京サミットの大衆的暴露を行ない、二の犯罪的欺瞞的ペニトに対して、断然とした粉碎行動をこの京大的地から創出するべく『侵略・戦争・差別』と腐る全学共同行動実行委員会を結成した！

共同行動実行委員会は、先日70名の学友の結集により立ち取られた『4・29 天皇在位60年式典粉碎！ 5.4 東京サミット粉碎！ 全学総大起集会』において確認された地平に基づいて、来る3月4・29『天皇在位60年式典』粉碎闘争を國家権力による威儀体制にある首都隕地において、廻り抜く。

全ての学友諸君が、我々共同行動実行委員会の主張を主体的に共有しつつ、共に、4・29『天皇在位60年式典』粉碎闘争に参加されんことを熱烈に訴えたい。

現行天皇制攻撃を粉碎しよう！

敗戦後、天皇は「国家の象徴」といった曖昧な存在のもので、その身分を保証され崩前の血ねられた歴史を隠滅する欺瞞的なマスコミの報道体制の中で、「家庭天皇」、「学者天皇」といった人畜無害なイメージを国民の中に演出してきたし、最近の世論調査を見る限り、この極めて政治的な操作が、かなりの成功をあげている。この成果をふまえ、国家権力は、天皇を「日本国民の歴史に対する精神的寄り物」といふ新たな国家主義の一支柱としてまた、崩前天皇の名のもとに遂行された了了諸国への侵略という血ねられた犯行行為を隠滅・清算するべく絶縁を決断した「和平天皇」といった虚像を作りあげようとする攻撃をかけている。

17日は最初急速に転換されている天皇の政治舞台への頻繁な登場である。いかなる仮面で其のうとも天皇が現在まで貫く政治的存続であったことは、一昨年今川煥一とヒート会談からヒロヒト発言によって、日韓の過去の歴史を「清算」しようという全くペテン的なイベントが日本韓国の中間者・人民の抗議の中で強行されたことから明らかであろう。その後、皇子の訪韓・中・米・オフ年国体における天皇訪韓といった政治イベントの中でも韓国・中国・北朝鮮といった場での日本国家の血められた過去や、現行も歴史として存在している経済侵略による労働者・人民の矛盾が隠滅されようとしている。

27日には、国際・行政・民間・マスコミ大動員による強制化進行における天皇制イデオロギーの国民への強制である。教育現場における「君が代」「日の丸」の強制化などの国民の抵抗の中で着々と進められている。

また、天皇在位60年式典をEXILICコールとした国家・民間レベルでの様々な行事が予定されている。関西において、5.11 大阪界での植樹祭 11.11 京都での奉祝・行進等が計画されている。今年一年、国内浦々々くづけながら「天皇賛美」の行事の集大成といふ4・29天皇在位60年式典が開催されようとしている。

3つ目では、冒頭のイディオギーを書き抜いた、天皇制右翼の暴力的暴発と、それに連動した国家・政治体制の強化である。ここで天皇制右翼と国内糾合と様々に行動へと暴力的暴発が、資本の手厚い庇護のもとで頻発している。日雇い労働者の街頭暴行事件においても不眞面目議会・金折一郎が暴力的に行進し警察との衝突の中で、労働組合襲撃の攻撃をかけている。

京大

侵略・戦争・差別と二つ

学連合会

連絡会
同上

その由で昨年一年と並んで、労働組合運動を相まって来た体制が、これら左翼的よくまとめて虚脱されている。

国家・皇室権力は、この前の右翼の運動と並んで最近になって、急速に左翼圧迫体制を強めている。

天皇の美化のもとで、4月に於ける首都改修特別に典型的に見られるようは、日常的な国民生活への介入アートヨーラヤ、法を無視して地上具体複数等)や、機動隊の常勤体制が、全国的に行われている。

京大上院でも、吉田総理と皇室権力が連座して学生運動を日常生活に組み込んでいるのだ。

天皇在位60年式典を粉碎せよ

以上のような背景の中で開催される、4.29天皇在位60年式典を、我々はどう粉碎するのか?

1つ目には、天皇がその在位中に行なってきた、アジア人民への侵略の過去や、現在においても続いている差別・抑圧の関係の中で、天皇の存在がはたして何の役割を考えるならば、その一切を隠蔽するための式典を実行を粉碎するとして、天皇ヒロヒトの悪業の歴史を暴露しつつ、天皇・皇族の魔滅に向けた闘争と人民の中から作りあげることが我々の任務だからだ。

2つ目には、現在の独占資本と労働者との間での、国際的な階級闘争の中で、天皇の有する政治的位置である。戦前から現代に至るまで、世界は、巨大化した独占資本一米国・日本といいた帝国主義列強の支配のもとで、榨取・抑圧のくびきにとらわれて来た。そしらの矛盾から、自らが解放する闘いとして、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの労働者・人民の民族解放闘争の嵐が、フィリピンや諸国をはじめとする世界中でおこっている。国内においても、労働者へのしめつけが激しくなる中で、同じ独占資本に「資金」という形態で隸属している我々も、自らの解放を竟ち取る闘いの矛先を、自国独占資本や、日本国家に向かつて、国境をこえた労働者・人民との团结を竟ち取らなければならぬ。

これらの国境を竟ち取る上で、現在進められている天皇制攻撃は、国家という名のもとで民族的・階級・一般抑圧の關係正常化し、差別・排外主義による我々と、アフリカ・ラテンアメリカ労働者・人民の間に分断をもたらすものとして、我々は断然と対応していくつもりだ。

京大当局学生部による日の丸掲揚・集会破壊活動を粉碎せよ!

これらの国家の動きに呼応して最近になって京大当局・学生部がかけている天皇制攻撃に対する、我々共同行動実は、強い警戒の声を上げつつ、やっていく。

1つ目は行政・文部省の意向を、徒順無批判にうけいれ、今年の4.29に再びあのアジア侵略のシンボルである「日の丸」を掲揚しようと、京大当局が策動していることである。

2つ目は来たる4.26にこの京大において開催される、「4.29天皇在位60年式典粉碎」開西学生会決起集会に対する学生部による犯罪的な妨害運動である。

学生部は「日粉碎」といった言葉を使う限り、教室を貸すだけにはいかない」と、全くふさげた論理をふりかさすことによって事実上、天皇在位60年を素直に、賛美しない名の活動などを許さないことを宣言しているのである。本来京大自体が一度して天皇の大字であったことは1950年代に、あの天皇ヒロヒトの赤字担当局が、もう手を上げて撤退したことからも明白にあたが、今日の攻撃はその正体を露骨に打ち出している。

我々は以上の様な大学当局による天皇制への支持・推進行為を全ての京大学生諸君に暴露するとともに、怒りをこめての強烈反対行動に取り組んでいきたい。

4.26-4.29天皇制攻撃・集会破壊行動に反対せよ!

以上の様な地平に立って今春我々は京大・首都をつなぐ連続した波状斗争を打ち出していく。

4.26には、京大当局のあらゆる妨害策動をはねのけて、天皇在位60年式典粉碎・開西学生会決起集会を、京大において竟ち取つて、この京大の地から天皇在位60年式典粉碎の声を上げていこう。

4.25-28にかけて我々は、京大当局による日の丸掲揚・式典粉碎集会に対する妨害といった攻撃に対して、全学的な反撃を組織していきたい。

4.29には、首都において、市営体制を実行打ち消して、天皇在位60年式典粉碎行動を断行としていくつもりである。

全ての学生諸君! 諸君が我々共同行動対のこれらの斗争に注目され、主体的に我々の斗争に結集されることを強く訴えたい。

学生部による教室使用不許可運動を絶対に許さず!

4.29京大当局へ日の丸掲揚実力阻止!